



【新型コロナウイルス対策を徹底】 新入生全員が対面で授業に参加します

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、全国の多くの大学が対面授業を見合わせ、オンライン授業を継続しています。

桃山学院教育大学（大阪府堺市、学長：梶田叡一、5月1日時点学生数：661名）では、授業の特性（教員免許取得等）上対面授業が望ましい科目について、新型コロナウイルスの感染対策を徹底した上で、6月3日（水）より分散登校による対面授業を再開。7月1日（水）からはさらに語学系等の一部科目を対面授業の対象に追加し、通常の対面授業を開始しています。

このたび、1年次生全員（178名）が取り組む「人間力向上プロジェクト」が7月14日（火）よりスタートします。入学以来、オンラインでの授業が続いていた新入生にとっては、**はじめて全員が対面で共通の課題解決に挑戦する授業になります。**

記

▼人間力向上プロジェクト（人間教育基礎演習／1年次）

日時：① 2020年7月14日（火） 9:00～10:30

※プロジェクト内容について全学生への説明を実施。1年次生全員が、ホールに集合します。

② 2020年7月21日（火） 9:00～10:30

※各クラスごとに全員が、各自が夏休みに行うアクションプランを発表（宣言）します。

ポイント：

- 1年次生全員（178名）が、新型コロナウイルスの感染対策を徹底した上で、対面で授業に参加します。
- 「人間力向上プロジェクト」は、桃山学院教育大学の通年の必修科目（コア科目）である「人間教育基礎演習」において、「自分の人生で大切にしたい価値を見つけ、その価値を実現するためのアクションを夏の間に取りこす」というユニークな課題です。本学で“人間力を磨く”一環として、まずは自分自身と向き合い、自分を知ること、今後のキャリアの基礎を築いていくものです。
- このような状況だからこそ、新しい時代の教育を切り拓いていく学生が、難局を乗り越え、自分が大切にしたい価値を世界の中でどのように実現していくのか、に期待するものです。
- 当日の授業の撮影、学生への取材（要本人了解）、大学関係者インタビュー（今後の課題や展望などについての一問一答）などキャンパスでの現地取材・撮影等に対応可能です。

以上

※取材をいただける際は、下記までご連絡をお願いいたします。